

¥0

Free

No.1  
2013 年春号

天狗と龍がすむ山

善通寺から  
みえる世界遺産

# 散策 善通寺

ふる里の風景を歩く



空海の里を  
再発見する

特集

善通寺の  
大自然に会う

必携の  
散策ガイド

五岳山（大麻山より）



弘田川

金倉川

天霧山

弥谷寺

金蔵寺

榎湧 (永井の湧水)

甲山寺

曼荼羅寺

鷺井神社

下湧

筆の山

ひょうたん池

香色山

出釈迦寺

市民集いの丘公園

善通寺駅

四国学院大学 旧偕行社

我拝師山

禅定寺

善通寺

赤レンガ

金毘羅燈籠

二頭湧

王墓山古墳

大麻山

宮が尾古墳

大麻山コース

野田院古墳

葵の瀧

龍王社

琴平駅

金刀比羅宮

琴平山 (象頭山)

# 善通寺市散策マップ



## 善通寺と丸亀平野（飯野山より）

### 三山にまたがる善通寺市

善通寺や金刀比羅宮など多くの寺社は、山沿いに集まっています。金刀比羅宮から大麻山、五岳山、そして弥谷山へとつづく山並みの麓を金倉川が流れています。集落は暴れ川だった金倉川を避けるようにできました。善通寺市はこうした山並みの大半を占め、瀬戸内海国立公園の一部になっている大麻山には、今も大自然が残っています。

# 善通寺の大自然に会う 大麻山コース

私が案内します！ 四国学院大学4年 観光学メジャー 松山 寛明

(国内・総合旅行業務取扱管理者)

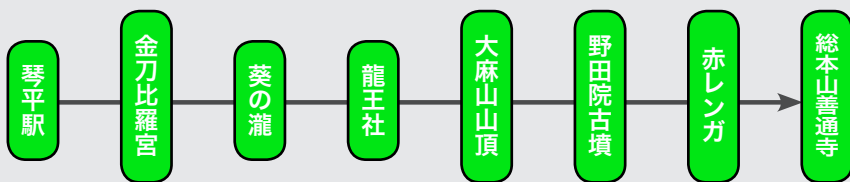
江戸時代から続く観光名所、金刀比羅宮。通常の観光客は、奥社まで登るともと来た道を戻ります。しかし、奥社の階段わきを右にそれると、そこからは、人も少ない大自然を満喫できるコースが・・・!!

コース  
紹介

善通寺も！金刀比羅宮も！

さらには・・・”大自然も”感じるツアー

大麻山コースの所要時間：3時間30分～4時間





# 大麻山コース

チェリーライン



## ①金刀比羅宮～山に鎮まる海神

石段は麓から本宮まで 785 段、奥社まで 1368 段。実は、こんぴらさんの神秘的な風景は 628 段目の旭社から始まります。<sup>さお</sup>竿に龍が巻きつく燈籠や長宗我部元親が金毘羅神の神罰を恐れて寄進した<sup>さかきもん</sup>逆木門があります。そして、深い森が現れ始めます。



## ②奥社と登山道～大自然への扉

大麻山は、奥社の階段右わきの登山道から登ります（少し分かりにくい）。ココから大麻山の大自然が始まります。社叢として守られてきた照葉樹の原生林は、いつもの普通寺の町では味わえない風景があります。



善通寺

ゴール



赤レンガ

山を下ると善通寺が見えます。

車道を歩きます。



野田院古墳

⑤大麻山山頂

④龍王社



ハイキングコースにはサインがあります。





### ⑤山頂～満開の桜並木

チェリーラインと呼ばれるように、4月から5月にはボタンザクラが満開になり、家族連れで賑わいます。



大麻山は標高 616.3m の山で、独立峰では香川県で最も高い山です。四国百名山の一つに数えられています。この付近は麻の生産地でした。

### あおい ③葵の瀧～ここも善通寺!?

金刀比羅宮の奥社から山道をしばらく行くと、葵の瀧が現れます。ここはもう善通寺市内です。高さ 15m、幅 20m の絶壁を水が滴<sup>したた</sup>っています。普段は水はなく、雨天時のみ瀧が出現します。なぜ、葵の瀧と呼ばれるのかな？ 那样的ば、たくさんのカンアオイが、山道に生えていたっけ!?



### ④龍王社～山の尾根に龍の池が・・・

金刀比羅宮からの険しい山道を登りきると、突如として龍王社が現れます。青龍権現を<sup>まつ</sup>祀る雨乞いの<sup>ほこら</sup>祠で、金刀比羅宮よりも古い歴史があります。龍王社は噴気口跡と呼ばれる池の中にあり、金刀比羅宮の神紋が刻まれた瓦を乗せています。



金刀比羅宮奥社の絶壁にかかる天狗面

## 大麻山再発見

# 天狗と龍がすむ山

### こんぴらさんの天狗がすむ絶壁

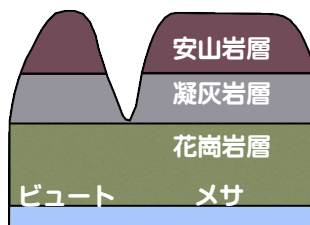
こんぴら信仰の教祖宥盛ゆうせい しゅげんどうは、修験道の法力を得て、天狗（金剛坊）になってお山を守っていると伝えられます。奥社の絶壁に掛かる天狗の面がこの伝説を物語っています。

実は、香川県は小さい割に多くの天狗伝説が（四～五）が伝わります。不思議なことに、そのすべてが山の絶壁や瀧にあります。香川県には、なぜ多くの天狗伝説が生まれたのでしょうか。その秘密は香川県の山の構造にあります。

香川県の里山は溶岩から生じた安山岩に被われ、その浸食後の形状によって、メサ（台地形）とかビュート（三角山形）と呼

ばれます。ふつう下図のように三層の地層で説明されますが、大麻山は凝灰岩層がないメサ台地です。奥社の絶壁や葵の瀧は山の頂部を被う硬い安山岩が浸食されてできたものです。

香川県の天狗伝説はいづれも火山岩の絶壁に伝わります。太古の火山活動が天狗伝説を育んだのです。



香川の山の地層





瓦に金刀比羅宮の神紋  
を刻む龍王社



雨天に瀧が出現する葵の瀧



龍王社の池

## 天狗と龍の仲は悪い？

今昔物語に「龍王、天狗のために取られたる語」という話が収められています。

讃岐の満濃池に棲む龍が、小蛇に形を変えて池の堤で日向ぼっこをしていると、天狗が鳶とびに姿を変えて近江から飛来し、龍を捕らえて近江の山の洞窟どうくつに閉じ込めてしまいました。龍は水がないため用力ようりきを使えませんでした。しかし、同じく捕らえられた僧が持つ柄杓ひしやくに残った一滴の水で用力を得て、僧とともに洞窟を脱出します。僧を背負って洞窟を脱出した龍は、雷を鳴らし、大雨を降らせながら僧をもとの坊に送り届けます。その後、荒法師の姿で歩く天狗を蹴り殺し、怨みを晴らしたのです。

水神としてあがめられる龍と悪ふざけが過ぎる天狗の仲は必ずしも良くないようですが、ここでは一つの山に（とは言っても、別々ですが）、同居しているようです。

## 龍王が現れる池～空海の雨請い

雨乞いの祈禱は日本全国の龍王社で行なわれますが、最も有名なものは京の神泉苑で空海が行ったものでしょう。

空海が雨乞いの法を修めると、白い蛇の頭に乗った金色の蛇が現れ、雨を降らせました。これがインドと神泉苑を行き来する善如龍王ぜんにょりゅうおうだったのです。

善如龍王は青龍権現ともいい、これを祀る龍王社は善通寺市内にいくつもあります。大麻山の龍王社や善通寺境内の龍王社は池の中にあり、神泉苑の龍王社に似ています。



大麻山の照葉樹林



マデイラ島の照葉樹林（世界遺産）



照葉樹林のもこもこした外観

### 世界遺産になった<sup>しょうようじゅりん</sup>照葉樹林

照葉樹林が世界遺産になったものがあります。それは、ポルトガルのマデイラ島で広範囲（こんぴらさんの百倍）に生育する月桂樹やタブノキの森です。ヨーロッパでは、照葉樹をはじめ、多くの植物種が氷河期に絶滅しましたが、マデイラ島の照葉樹林は奇跡的に生き残りました。しかし、その面積は15世紀以来の開発によって著しく減ったため、1999年、氷河期以前のヨーロッパの植物の進化や生態系を示す例証として自然遺産に登録されました。これによく似た大麻山の照葉樹の森が、世界遺産になる日がくるのでしょうか。

### 大自然を演出する照葉樹の森

大麻山の大自然は、昼なお暗い照葉樹林の中を歩いて体感できます。照葉樹林は常緑のシイ、カシ類、タブノキなどからなる森で、これらはその葉に光沢があるため照葉樹と呼ばれます。照葉樹林は年中葉が茂るため、鬱蒼とした森になります。森のもこもこした外観は世界共通です。

西日本の照葉樹林は百年以上かけて完成する自然林といわれ、しばしば鎮守の杜にその面影がみられます。大麻山の照葉樹林は、金刀比羅宮や大麻神社の鎮守として長年大切にされてきた、全国でも有数の森です。大切にしたい風景です。



## 見慣れた神社の森、実は世界遺産？

照葉樹は一年中葉が茂る常緑の樹で、日本では神が宿る依り代と考えられたため、神社の鎮守の杜として大切にされてきました。海外では、そんな身近な森が世界遺産に登録されたところもあります。



木熊野神社のナギ林（左端）



吉田八幡神社のアキニレ（中央）



善通寺の大楠

### いろいろな鎮守の杜

鎮守の杜は、信仰上の理由から伐採が厳しく制限されて照葉樹の森になります。しかし、木の枯れ跡などにケヤキやムクノキなどの落葉樹、スギやヒノキなどの針葉樹が植えられると、必ずしも自然林にはなりません。木熊野神社のナギ（熊野系神社の神木）や吉田八幡神社のアキニレがその例です。神社や仏閣の定番ともいえるクスノキも植えられたものです。



ナギの葉

### 神木の定番、クスノキは外国産？

善通寺の大楠は、空海が誕生した時には茂っていたといえます。こうしたクスノキの巨木は全国の神社仏閣にみられ、神木として大切にされています。

実は、クスノキは月桂樹の仲間の照葉樹で、高い防虫効果があるため、古い時代に大陸から持ち込まれた植物といわれます。クスノキは樟腦<sup>しょうのう</sup>の原料になるほど防虫防腐成分を多く含み、古代には仏像や丸木舟に利用されたといえます。

樟腦（カンファー）は強心剤や外用薬に使われ、清涼感のある香りがします。葉を揉んでその香りを確かめてみましょう。

## 善通寺五岳の里 市民集いの丘公園

### 一足先に春がきた

まだまだ冷たい風のなか、市民集いの丘公園にパンジーが咲きほこっています。色とりどりのピオラやパンジーが、痛々しい枯れた芝生を賑わせています。いろんなトビアリーの動物も春を待ち望んでいるかのようです。寒風の中を元気に走っている子どもたちもいます。春の賑わいはもうすぐです。



市民集いの丘公園



ピオラ

### ピオラとパンジー

花の大きさで呼び名が変わります。花の小さなピオラは、上に2枚、横に2枚、下に1枚の5枚の花びらがよくわかります。野生のスマシの面影があります。

## 季節がめぐる街の公園

### 庭園、ひとくちメモ（1）

善通寺市をはじめ全国各地で花や庭園をテーマに、多くの人々が楽しめるイベントを催す施設がつくられています。

こうした庭園は、イングリッシュ・ガーデンの名で世界を席卷するイギリスが最もすすんでいます。とくに、有名な王立園芸協会（RHS）はイギリス国内にウィズリー・ガーデン（写真）など4庭園をもち、世界の園芸振興に貢献してきました。日本からも多くの人々が、訪れています。



花のタワー

盆栽庭園

### イギリス

#### RHS

ウィズリー・ガーデンでは集いの丘公園と同様に、プロによって提案された最新の庭園が展示されています。観光地としても飽きません。





屋島

## 比べてウォッチ！



琴平山・大麻山



象頭山

### 屋根の山

香川県には、メサと呼ばれる（p5 参照）屋根形の山がいくつもあります。典型は屋島ですが、大麻山（写真中央）や弥谷山（下）もこれに相当します。

ところで、そうずさんこんぴらさんの山号、象頭山から連想する象の頭は、琴平山（写真中央左）よりも大麻山（右）の方がよく似ています。しかし、江戸時代の人々は琴平山と愛宕山のカーブを象の鼻に見立てました（↓と上絵図）。



弥谷山・天霧山

## 風景をたのしむまめ知識



クヌギ（落葉）

コナラ（落葉）

アラカシ（常緑）

シリブカガシ（常緑）

### ドングリは森を語る？

鎮守の杜には、ドングリの木が多くあります。よく見ると、ドングリの大きさやお椀の形が違うことに気づきます。次に、落ちていたドングリの上に生えている木の葉を見ましょう。

ドングリのお椀にリング状の模様があれば常緑のカシの暗い森で、お椀の模様が針状（クヌギなど）やチェック模様（コナラ）であれば落葉の明るい森です。ただし、常緑でも、シリブカガシやマテバシイ、ウバメガシはチェック模様のお椀です。



シラカシ（左）  
とコナラ（右）

持ち物リスト		
服装	登山グッズ	その他
<input type="checkbox"/> 帽子	<input type="checkbox"/> 地図	<input type="checkbox"/> 非常食
<input type="checkbox"/> 防寒着	<input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> 救急セット
<input type="checkbox"/> 長袖シャツ	<input type="checkbox"/> 飲料水	
<input type="checkbox"/> バックパック	<input type="checkbox"/> ビニール袋	
	<input type="checkbox"/> タオル	
	<input type="checkbox"/> ティッシュ	

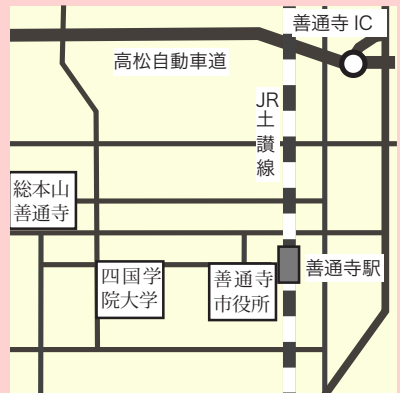
### 登山の心得



- ・山の天気は変わり易いので雨具は携帯しよう。  
防寒対策も忘れずに！
- ・履きなれたシューズで出かけよう。
- ・リュックザックをもって両手は自由にしよう。
- ・自分のペースでゆっくりと登ろう。
- ・自然を破壊しないために、ゴミは必ず持ち帰ろう。  
ペット同伴の登山も禁止！



アクセス



制作・お問い合わせ

四国学院大学

観光学メジャー 松山 寛明

(mhroaki10@gmail.com)

サークル・四学ウェブ

<http://www.shigakuweb.com>

(shigakuweb@yahoo.co.jp)

制作協力

善通寺市役所土木都市計画課

(Tel. 63-6314)

参考文献

みちくさ遍路 2001

さぬき五色台

ガイドブック

